

平成31年度 消防本部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策（消防本部関係分）

政策 04 安全・ 安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬季生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	平成31年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）							
	04-03 消防・救急の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・消防組織体制の充実では「消防職員人材育成基本計画」に基づいた消防活動に必要な大型自動車免許や小型船舶操縦士免許などの各種資格取得や救急隊員資格者の計画的な養成を継続します。また高度な消防教育機関である消防大学校や先進都市などに研修派遣を行い、指導的立場の職員の養成や災害対応力の向上のため若手職員の育成に努めます。 ・消防施設等の整備では消防指令業務共同運用に向けた調整・協議を行い、整備費のコストダウンや大規模災害等の対応力の強化を図ります。また消防車両・安全装備品の更新整備や消防庁舎の長期保全に向けた改修計画に基づく改修を行い、消防施設等の安定的な維持管理を図ります。また消防団を中核とした地域防災力の向上では、消防団や関係団体等とのより一層の連携強化を図るとともに学生等若年層の消防団への入団促進や自主的な消防団運営と地域事業への参加を支援します。 ・救急体制の充実では、救急需要の分析と調査を行い救急隊の効率的な運用を検討し高齢化社会の進展等に伴い増加する救急需要に対応していきます。また、児童・生徒を対象とした救命講習会を積極的に開催し、若年層からの応急手当普及啓発や救急車適正利用の意識付けを図るとともに、大学生や自治会などを対象とした応急手当普及員講習により、市民自らが指導できる応急手当普及員の育成を促進していきます。 ・火災予防対策の推進では、出火防止対策として火災調査結果を活用した予防広報を展開します。また、火災による被害を軽減するため「住宅用火災警報器」の適正な維持管理を含めた「住宅用防災機器」の普及促進に努めます。特に高齢者を火災から守るため、民間防火組織の育成強化並びに自治会等との連携を図ります。事業所等に対しては法令順守による防火管理・保安管理体制の推進を図ります。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	82.2	83.1	81.9	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	52.5	56.3	55.9	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.4	93.2	93.5	↗
	消防本部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「江別市消防10か年アクションプラン」 応急手当指導員 (一般救急隊員+救急救命士)		人	81	84	86	90	↗	
「江別市消防10か年アクションプラン」 防火・保安研修会等参加者の市民割合		%	23.4	26.8	27.2	28.7	↗	

2. えべつ未来戦略(消防本部関係分)

戦 略	■ 具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

3. 消防本部の資源

		実 績			予算額	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	280,230	248,021	246,911	423,622	248,825
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	280,230	248,021	246,911	423,622	248,825
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	129	130	130	130	128
	平均単価 (b)	7,764	7,670	7,618	7,722	7,775
	人件費 (a×b)	1,001,556	997,101	990,340	1,003,860	995,200
総 額		1,281,786	1,245,122	1,237,251	1,427,482	1,244,025